

Criteo、最高人事責任者にマヌエラ・モンタニャーナを任命

世界最先端のコマースメディアプラットフォームを提供するグローバルなテクノロジー企業である [Criteo](#)（クリテオ、本社:フランス、以下 Criteo）は、Chief People Officer（最高人事責任者、以下 CPO）に [マヌエラ・モンタニャーナ（Manuela Montagnana）](#) を任命しました。モンタニャーナは Criteo の People 部門（人事部門）の最高責任者として、2500 人を超える全社員の人財戦略や Criteo の将来の職場環境の構築などについて、人事部門を率いていきます。モンタニャーナは、過去三年にわたって同職務にあたったデニス・コリン（Denis Collin）から業務を引き継ぎ、遂行します。

モンタニャーナは 20 年以上もの間、製造業、サービス業、テクノロジー業界において人事部門の経験を積んできました。モンタニャーナは、急成長中の組織と成熟した組織の双方において、変革や転換期のタイミングで、人財マネジメントを通じて高いパフォーマンスをあげる組織へと導いてきました。Criteo に入社する前は、米 Compass 社の製品開発部門の人事責任者バイス・プレジデントとして、最高技術責任者や最高製品責任者と一緒に組織を統括してきました。コンパス社では、インドでの新しい開発拠点の立ち上げや、M&A によって統合されたベンチャー企業 2 社の人材の適合など、企業の変革・転換に携わるプロジェクトをリードしてきました。

モンタニャーナは Criteo の CPO として今後、公平、透明かつ包括的なプロセスや実務を担保し、高いパフォーマンスのチームを支援することに注力していきます。加えて、Criteo が今も今後も、魅力的な企業として選ばれ続けるように、優秀な人材の確保と維持に努めます。

Criteo の CEO であるメーガン・クラークン（Megan Clarken）は次のように述べています。「昨年、働く環境は大きく変化してきました。マヌエラが入社することで、Criteo が従業員に柔軟な環境を提供し、あらゆる人が働きやすく包括的で、革新的、そして協力的な企業文化を形成していくことを期待しています。高い信頼性とインパクトのある広告をもって、世界中のマーケターとメディアオーナーを支援するという当社のミッションを実現する上で、最も重要な人財に投資を続ける当社にとって、この度経営幹部に加わるマヌエラの役割は非常に重要だと考えています」



モンタニャーナは次のように述べています。「Criteo の魅力は、人を中心に据えた企業文化、企業価値の高さ、そしてグローバルに展開する規模感と、力強いミッションにあります。このように成長を続ける企業の過渡期に入社することは非常に楽しみなことであり、生産性の高い従業員体験を創造するプログラムを最適化していくことで、トップクラスの優秀な人材を確保・維持し、今日のハイブリッドな労働環境における成長を促していきたいと思っています」

モンタニャーナはドイツで育ち、フランスに 20 年以上居住していました。Criteo に入社してからはニューヨークに拠点を移し、パリに在籍するクラークの配下に入ります。

■ Criteo (クリテオ) について ■

Criteo (NASDAQ : CRTO) は、世界最先端のコマースメディアプラットフォームを提供するグローバルなテクノロジー企業です。世界20,000社以上の広告主、数千のパブリッシャーと連携して得られる膨大なデータを機械学習を用いて精密に分析することで、全ての広告チャネルを通じた効率的な広告配信を実現します。Criteoはテクノロジーを通じて、あらゆる規模の広告主に対し、ユーザーが本当に求めているものに出会える仕組みを提供します。 ※CRITEO株式会社はその日本法人です。www.criteo.com/jp/

本件に関する報道関係者お問い合わせ先

CRITEO 株式会社 広報 酒井

CRITEO 株式会社 PR 事務局 (アリソン・アンド・パートナーズ株式会社内)

E-mail : criteo_pr@allisonpr.com